

# 認知症医療と介護の連携シートについて

## (介護・看護スタッフ用)

H23年1月

介護支援専門員・介護スタッフなどが、医師と患者さんの情報を共有することで、医師には診療時間の短縮を図っていただくとともに、治療方針の決定や効果判定をしていただき、介護や看護の現場では、医師から意見をいただくことで生活支援に活かすことができます。

そこで、認知症医療連携協議会で医療連携シートをつくりましたので、介護と医療の連携のためにご活用下さい。

### 様式1：医療連携シート（外来受診用）

患者さんが医療機関やかかりつけ医を受診する時に、介護支援専門員やサービス事業所、施設職員が医師あてに、受診に至った理由や患者さんの状態を伝える時に使います。医師は、介護スタッフに対して指導があれば、医療連携シート(外来受診用)の4)に意見や指示を記入して返信してください。

### 様式2：経過報告用紙

認知症疾患医療センターを受診した患者さんの状態を医師にお伝えする様式です。特に薬が処方されている患者さんの状態の変化をわかりやすく伝える時に活用ください。

\*様式1、様式2は、事前に医療機関あて送付するか、同伴受診時に持参してください。

\*様式は、認知症の人以外の時も使用できます。